



ドイツからやってきた国際交流員(CIR)の
アネマリー・グンツェルさんが、ドイツの文
化や田川での生活などを紹介します。

●アネマリーさんのブログ公開中！
<https://tagawacir.wordpress.com/>

スマホ、携帯電話は
こちらから

QRコード➡



食欲の秋：Erntedankfest

秋は収穫の季節です。ドイツの10月の旬な作物は、カボチャ、リンゴ、ニンジン、マロンなど、さまざまな美味しいものがあります。今回は「Erntedankfest」と呼ばれるドイツの収穫祭を紹介します。ドイツ語で「Ernte」は収穫で「Dank」は感謝、そして「Fest」は祭りという意味です。ドイツでは収穫祭の日は定められていませんが、多くの地域で10月の第1日曜日に行われます。この日は、祝日ではありません。ヨーロッパの収穫祭は、キリスト教が発展する前にもありましたが、現在はキリスト教の文化として、収穫祭は神様へ豊作の感謝を表すために開催されています。教会や街中には、

収穫された野菜や穀物で作られた伝統的なリースなどが飾られ、人々は穀物の飾りを持ってパレードに参加し、町を歩いて収穫を祝います。また、山車と一緒に進みながら楽器を演奏するマーチングバンドがパレードを盛り上げます。収穫祭は最も古い伝統のひとつで、ドイツの秋の風物詩です。



今日の言葉
Erntedankfest (収穫祭)